

会議録

- | | | |
|---|----------|---|
| 1 | 会議の名称 | 令和7年度第1回熊取町子ども読書活動推進連絡協議会 |
| 2 | 開催日時 | 令和7年6月25日(水) 10時30分～12時00分 |
| 3 | 開催場所 | 熊取町立熊取図書館2階ホール |
| 4 | 議題 | 案件1. 委員長、副委員長の選出
案件2. 令和6年度熊取町子ども読書活動推進事業報告及び
令和7年度熊取町子ども読書活動推進事業予定について
案件3. 「熊取町第4次子ども読書活動推進計画」に基づく、
児童・生徒へのアンケート調査について
その他 「熊取町第5次子ども読書活動推進計画」の進め方 |
| 5 | 公開・非公開の別 | 全部公開 |

- | | | |
|---|------|----|
| 6 | 傍聴者数 | 0人 |
|---|------|----|

7 審議会等の概要

●案件1 委員長、副委員長の選出

委員長に齊藤委員、副委員長に馬戸委員が選出された

●案件2 令和6年度熊取町子ども読書活動推進事業報告及び令和7年度の熊取町子ども読書活動推進事業予定

【事務局からの説明】

- 令和6年度は、生涯学習推進課、NPO法人くまとり子育てWA・輪・和、NPO法人地域支援センターくまとり Rond、NPO法人ホームビジット・とんとん、熊取文庫連絡協議会との協働で、専門部会として研修会「本があれば子どもは読む?～大人と子どもへのアプローチ～」を保育所等の先生や小中学校の先生、学校図書館司書、地域で子育て支援に関わる方が一堂に会して実施することができた。
- 令和7年度の予定として、学校図書館は、図書管理システム導入後に初めて小中学校8校で、学校、学校教育課、図書館と連携し、各学校図書館の蔵書点検を実施。
中学校のみ6月から生徒一人一台端末で熊取図書館の電子図書館の利用を開始した。
- 開館30周年記念イベントとして、「としょフェス」にて、住民団体との連携で様々なイベントを開催。その中で「ガチャ本(ぼん)」と言う、職員手製のカプセルトイマシンにお

すすめの本を紹介したカプセルを入れて、本を貸出した時に回してもらい、おすすめ本を借りてもらった。本の紹介は図書館の職員だけでなく、文庫連とNPO法人くまとり子育てWA・輪・和にもご協力いただいた。

④令和5年度も行ったいろいろな言語の絵本や読み聞かせを楽しむ「いろいろなことばのえほんのひろば」を図書館主催で行った。大阪観光大学や図書館の会議室を利用している英語勉強会にもご協力いただき、また、その場を活用して子育て支援課による「外国にルーツを持つお母さんの交流会」も開催し、様々な人の交流の場となった。同日にはJICA関西による民族衣装体験なども行い、好評であった。

⑤支援が必要な子どもへの読書環境の整備として、「教育支援センター運営事業」に通う子どもたちに図書館利用だけでなく、YAコーナーのイベント「本のPOP」の作成にも関わっていただいた。

【委員からの主な意見等】

- ・熊取図書館と学校図書館の情報の共有化をして欲しい。学校にはなくても町立図書館にはこれだけの本があるので、一人一台端末を積極的に使って子どもたちの読む本の数を増やして欲しい。学校も町立も関係ない、両方とも子どもたちが使える図書館ですよという形に持って行き、子どもたちに読書の面白みを感じて欲しい。

- ・小学校各校共通して言えるのが、学校図書館司書の配置によって、とてもたくさんの読書好きの子どもたちを増やしてもらっている現状がある。

- ・読書というのは、やっぱり先生方の思いだったりとか、保護者の姿であったりとか、すごく影響すると思う。大人が本が嫌いだと子どもたちは読まないと思う。

- ・働きながらこのボランティアの活動をしているが、働きながらも自分の時間を有効に活用して、この活動を通して私たちが読み聞かせをすることで子どもたちに色んな世界を知ってもらいたい。

- ・子育て中のお家って日々忙しくて本を読む時間がないとは思いますが、ホームスタートの訪問や子育て広場などでも本に触れる時間がある。そんな機会がたくさんある熊取町「子育てに優しいまち熊取」をもっと発信しては。

- ・絵本の会のお母さん方と話していると、絵本から読みものに移行する時の本選びが難しいという意見が出ている。幼稚園や保育園から小学校に上がって文字の多い本に移行していく時に、手助けになるような活動をしたいと思っている。

●案件3 「熊取町第4次子ども読書活動推進計画」に基づく、児童・生徒へのアンケート調査について

- ・調査対象は、小学3年生から6年生、中学校は全生徒、調査方法は、児童・生徒の一人1台端末であるクロームブックで実施。

- ・小学生のアンケート結果について、「自分で本を読むことが好きですか」という質問に児童全体の約8割が好きだということが分かった。また、「自分で本を読むことが好き」という質問に「あまり好きでない」、「きれい」と回答した児童の理由として、「文章を読むのが苦手」、「読みたい本がない」という回答が多かった。「熊取図書館を利用します

か」という質問に、「よくする」「ときどきする」を合わせた数は、約5割以上の児童は利用していたが、「よくする」「ときどきする」を学校別で見た場合、熊取図書館が校区内か校区外かという差はないことが分かった。

・中学生のアンケート結果について、「本を読むのは好きですか」という質問に、6割以上の生徒が好きだということが分かった。しかし、中学生は小学生と違い、「図書的时间」がないため、「授業以外で学校図書館を利用しますか」という質問には、学年の差はなかった、3割程度の生徒しか利用していない状況が分かった。

・アンケート結果により、児童・生徒の読書に関する様々な課題が見えてきたため、学校、学校教育課と共に今後解決する方策を検討していく。

●案件4 「熊取町第5次子ども読書活動推進計画」の進め方

令和8年度末に「第5次計画」を策定予定のため、令和7年度は準備期間として、子ども読書に関わる関係機関、団体への聞き取り調査と小学5年生と中学2年生へのアンケートを継続して実施し、子どもの読書に関する現状や課題をまとめていく予定。

8	審議会の情報名称	名称	熊取町子ども読書活動推進連絡協議会
		根拠法令等	熊取町子ども読書活動推進連絡協議会設置要綱
		設置期間	平成21年4月13日～
		所掌事項	子ども読書活動推進計画に関すること
		委員数	13人
9	担当課	図書館	